

BACHABEND

指揮／小林 道夫

器楽／東京芸術大学バッハカンタータクラブ有志

合唱／盛岡バッハカンタータフェライン

1981年7月4日 6:30pm.

岩手教育会館ホール

＝プログラム＝

● カンタータ 196 番 「主は我らを思い給えり」

Sop. 大沼美恵子
Ten. 辻 秀幸
Bas. 斉藤 明夫

● ブランデンブルク協奏曲 5 番 BWV 1050

Cem.	小林 道夫	Vl.	田崎 瑞博
Vl.solo.	蒲生 克郷	Vla.	杉山光太郎
Fl.solo.	木津 芳夫	Vc.	伊藤 耕司
		Kb.	吉浦 勝喜

● カンタータ 182 番 「天の王よようこそ来ませ」

Alt.	奥本 とも	Fl.	木津 芳夫
Ten.	辻 秀幸	Vl.	田崎 瑞博
Bas.	斉藤 明夫	Vc.	伊藤 耕司

本日はお忙しい中を、おいで下さいまして、誠にありがとうございます。私共の団体が、バッハの教会カンタータを取り上げて活動してから、はや5年目を迎え、改めてバッハの音楽の深さ、難しさを感じさせられております。今をさる250年ほど前には、教会の礼拝で信者を前にして演奏されていた音楽を、現代の、宗教心薄い私達がどう受け止めればよいのか、といった問題を始めとして、バッハは何故に演奏者を困らせるような作曲をしたのか、といった嘆きを持ちながらも、これまで続けてこられたのは、バッハの音楽のもっている多面的な魅力であったろうと思います。

芸大バッハカンタータクラブのメンバーは、バッハに取りつかれて演奏を続けてこられた方々であり、今回の協演を、私達も大いに心待ちにしていたところです。そして、指揮をしていただく小林道夫先生には、多忙なスケジュールの中を盛岡まで来ていただき、厚く御礼を申し上げます。

最後に今晚の聴衆の方々に、深く感謝申し上げるとともに、バッハの音楽を分かちあえることを願ってやみません。

盛岡バッハカンタータフェライン

代表 石 倉 久 夫

小林先生の紹介にかえて

一人の作曲家の全体像について理解しようとすれば並大抵の努力では、おぼつかないことと思うが、殊更にバッハの様にある時代の終りに、それまでの音楽史の流れを締めくくる形で現われる場合には非凡な才能が必要であるように思われる。

そうした意味では、バッハを演奏しようとする者は、常に巨象をなでる群盲の一人になりかねない危険性をもっていると言えよう。どのような小曲においても、バッハの全体像との関わりを意識の中にとどめておく必要があるだろうし、今回取り上げている教会カンタータについても同様である。室内乐的要素、高等数学的とも言える楽曲の構成、音と言葉との密接な結び付き、更には曲にこめられたバッハの深遠な宗教心等々、どれ一つを取り上げても、演奏する者にとっては容易ならざるものがある。まして指揮する者にとってはいかばかりであろうか。その中にあっても、小林先生は、永年の演奏歴の上に、教会カンタータへの万全のキャリアを積んできているように思えてならない。芸大在学中からひっぱりだこだったと言う歌曲伴奏でつちかわれた音と言葉との結び付きの理解、チェンバロ奏者としてのバッハの鍵盤曲の豊富なキャリア、更には、仕事の半分を占めるという室内楽演奏、そして信者としての宗教心、まさに、教会カンタータの理解に欠けるものは何一つないと言ってよいし、その意味でバッハ演奏に至る過程こそが先生のめざしてきたもののように思えてならない。

これまで述べてきたことは、私が小林先生について

見聞きしてきた文章や演奏から受けている印象に基づく推察であり、我々によく小林先生の話をしてくれた佐々木正利氏（当団体前指揮者 現在在独中）にこういった話をすれば、「小林先生は、奥が深くて、どこまでつっこんで行っても奥の見えることがない人だから、そういう認識じゃ、まだまだ甘いと思いますよ。」と言われそうな気がしてならない。（石倉久夫）

◆ 小林道夫 略歴

1933年生れ。

1955年東京芸術大学音楽学部楽理科卒業。

その後伴奏者として極めて幅の広い活動始める。

1956年 その地味な活動が高く評価されて毎日音楽賞新人奨励賞を受賞。この頃中山悌一氏と全国的な演奏旅行を行ない、ドイツ・リートとその演奏について深く学び、その後の大成の基礎をつくった。

1960年 この頃から、来日した世界的アーティストたち——ゲルハルト・ヒュッシュ、ヘルマン・プライ、ルードヴィヒ・ヘルシャー、ジャン＝ピエール・ランパル——と協演し広く注目された。

1965年 デトモルト北西大学に留学、チェンバロ奏者としては、ドイツ・バッハ・ゾリステン、フランクフルト・バッハ・オーケストラと協演。

帰国後はチェンバロとピアノの独奏及び伴奏、バロック音楽、アンサンブル、指揮、合唱等極めて多方面にわたる活躍をつづける。

1970年 第1回鳥井音楽賞を受賞。

この間、オーレル・ニコレ、エルンスト・ヘフリガー、フィッシャー・ディスカウ、モーリス・アンドレ等、一流のアーティストと協演、ジェラルド・ムーアに比肩する名伴奏者として知られ、ヘフリガーと、アメリカ、フィッシャー・ディスカウとヨーロッパ各地の演奏旅行をする。

1972年 ザルツブルグ国際財団モーツァルテウム記念メダルを授与される。

1979年 モービル音楽賞受賞

◎ 東京芸術大学バッハカンタークラブ有志

フルート	木津 芳夫				
ヴァイオリン	蒲生 克郷	田崎 瑞博	津留崎 京	川原 千真	小口あけみ
ヴィオラ	李 善 銘	杉山光太郎			
チェロ	伊藤 耕司				
コントラバス	吉浦 勝喜				
チェンバロ	武久 源造				

◎ 盛岡バッハカンタータフェライン

ソプラノ	石橋 裕美	泉谷麻利子	菊池 誠子	後藤 弘子	斎藤 純子
	澤田 東子	菅原 節子	内藤 久子	西村 尚美	盛内 三雪
	柳田 松子				
アルト	潮田 容子	金山久見子	桐原 絹子	高橋 孝子	乳井 明子
	早川芙美子	矢谷安紀子			
テノール	飯島 隆	石倉 久夫	鈴木 康之	香川 嘉尚	
バス	小原 一穂	下田 潤	魚住 英 孝 昭	高橋 克典	白井利長
合唱指導	蒲生 克郷	練習伴奏者	飯島 陽子		

会員募集

ただ今、盛岡バッハカンタータフェラインでは会員を募集しています。

当団体は昭和52年2月に発足した団体でバッハカンタータを歌うことを通して、バッハの音楽に親しみ学んでいくことを目的としています。合唱経験の有無にかかわらず、どなたでもお気軽においでください。

- ・練習日 毎週火曜日 PM 6:30 ~ 9:00
- ・練習会場 カトリック志家教会伝導館
- ・連絡先 斎藤純子 TEL 22 - 2977

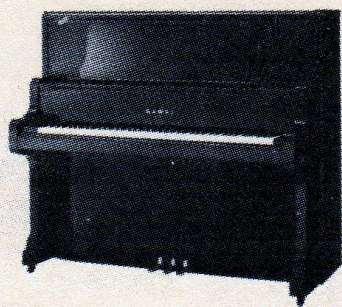
本日 7月4日より リフレッシュオープン!!

ヤマハ、その他有名ブランド各種取扱い

伊 藤 楽 器

盛岡市中央通1丁目 TEL 0196(24)3854

カワイピアノUSシリーズ



US-50

現金価格
580,000円
高さ=132cm
間口=153cm
奥行=66cm
重量=256kg

にだいま、サマーセール実施中
7月20日まで

♣セール期間中、アンケートにご協力いただいた皆さまには、もれなくジャンボホイッスルを、さらにご商談いただいた皆さまにはビーチセットをプレゼント
カワイのアップライトピアノはお求めやすいKS-1F(¥380,000)から、お支払いは最長36回までのカワイピアノローンをご利用ください。
くわしくはカワイ営業マンもしくは下記にお問い合わせください。

㈱株式会社河合楽器製作所盛岡店

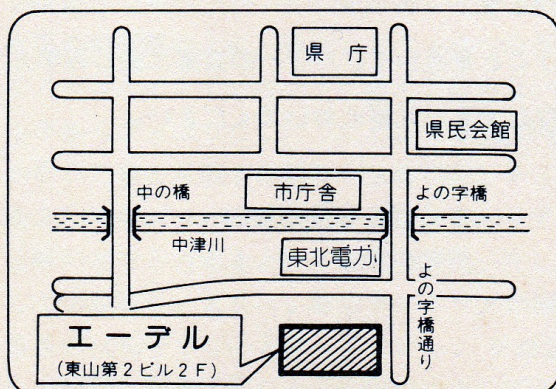
盛岡市中央通り1丁目11番15号 ☎22-8018

寺社から近代ビルまで多彩なレパートリー

有限会社 野 頭 工 務 店

盛岡市茶畑2丁目15-27

代表取締役 野 頭 賢次郎



盛岡市紺屋町2-23

ミーティングルーム
喫茶・ミニレストラン



エーデル

☎51-9100

...エーデルのごあんない...

コーヒーの香りの中から温かいひとつの文化が生まれてくる。

楽しい食事と語らい……エーデルをそんな居心地のよい場として、個人、グループの活動、発表、展示、会合などに、ご利用いただければ幸いです。

ミーティングルームをそなえて皆様のお申し出をお待ちしております。

カンタータ 第196番 《主はわれらをみ心にとめたまえり》

1. Sinfonia

Streicher, B. c.

2. Chor

Der Herr denket an uns und segnet uns; er
segnet das Haus Israel, er segnet das Haus
Aaron. Der Herr denket an uns!

Chor, Streicher, B. c.

3. Arie

Er segnet, die den Herrn fürchten, beide,
Kleine und Große.

Sopran, Violine, B. c.

4. Duett

Der Herr segne euch je mehr und mehr; euch
und eure Kinder.

Tenor, Baß, Streicher, B. c.

5. Chor

Ihr seid die Gesegneten des Herrn, der Himmel
und Erde gemacht hat. Amen.

Chor, Streicher, B. c.

1. シンフォニア

弦楽器, 通奏低音

2. 合唱

主はわれらをみ心にとめられ, われらを恵みたま
えり, 主はイスラエルの家を恵み, アロンの家を
恵みたま。主はわれらをみ心にとめたまえり。
(詩篇115, 12)

合唱, 弦楽器, 通奏低音

3. アリア

主は, 小さき者も大きな者も, 主を恐れる者を
恵みたまわん。(詩篇115, 13)

ソプラノ, ヴァイオリン, 通奏低音

4. 二重唱

願わくは主が汝らをいやましに恵みたまわんこと
を。汝らを汝らの子孫とを恵みたまわんことを。
(詩篇115, 14)

テノール, バス, 弦楽器, 通奏低音

5. 合唱

天と地を造られし主のみ恵みが汝らにくだらんこ
とを。アーメン。(詩篇115, 15)

合唱, 弦楽器, 通奏低音

カンタータ 第182番 《天の王よ, ようこそ来ませ》

1. Sonata

Blockflöte, Violine, Streicher, B. c.

2. Chor

Himmelskönig, sei willkommen,
Laß auch uns dein Zion sein!
Komm herein,
Du hast uns das Herz genommen.

Chor, Blockflöte, Violine, Streicher, B. c.

3. Rezitativ

Siehe, ich, komme, im Buch ist von mir ge-
schrieben; deinen Willen, mein Gott, tu ich
gerne.

Baß, B. c.

1. ソナタ

ブロックフレーテ, ヴァイオリン, 弦楽器, 通奏低音

2. 合唱

天の王よ, ようこそ来ませ
われらをも汝のシオンとならしめたまえ。
入り来たれ,
汝はわれらの心を捕えたもうた。

合唱, ブロックフレーテ, ヴァイオリン, 弦楽器, 通奏
低音

3. レチタティーヴォ

みよ, われ来たらん, わがことは聖書の中に記さ
れり。わが神よ, われ喜びてみ心にしがいて行
なわん。(詩篇, 40, 8-9)

バス, 通奏低音

4. Arie

Starkes Lieben,
Das dich, großer Gottessohn,
Von dem Thron
Deiner Herrlichkeit getrieben,
Daß du dich zum Heil der Welt
Als ein Opfer vorgestellt,
Daß du dich mit Blut verschrieben!

Baß, Violine, 2 Violon, B. c.

5. Arie

Leget euch dem Heiland unter,
Herzen, die ihr christlich seid.
Tragt ein unbeflecktes Kleid
Eures Glaubens ihm entgegen,
Leib und Leben und Vermögen
Sei dem König geweiht.

Alt, Blockflöte, B. c.

6. Arie

Jesu, laß durch Wohl und Weh
Mich auch mit dir ziehen.
Schreit die Welt nur <Kreuzige>!,
So laß mich nicht fliehen,
Herr, von deinem Kreuzpanier;
Kron und Palmen find ich hier.

Tenor, B. c.

7. Choral

Jesu, deine Passion
Ist mir lauter Freude,
Deine Wunden, Kron und Hohn
Meines Herzens Weide;
Meine Seel auf Rosen geht,
Wenn ich dran gedenke,
In dem Himmel eine Stätt
Uns deswegen schenke.

Chor, Blockflöte, Streicher, B. c.

8. Chor

So lasset uns gehen in Salem der Freuden,
Begleitet den König in Lieben und Leiden.
Er gehet voran
Und öffnet die Bahn.

Chor, Blockflöte, Violine, Streicher, B. c.

4. アリア

強き愛
大いなる神の子よ,
それは汝より
権力の王座を奪いしもの。
汝はみずからを世の救済のために
犠牲として供し
みずからを血で書きしるしたもう。
バス, ヴァイオリン, ヴィオラ2, 通奏低音

5. アリア

救い主のみもとにひれ伏すべし,
キリストのしもべとなりし心よ。
信仰の汚れなき衣を着て
キリストを出迎えよ。
体と生命と力は
今や王に捧げられん。
アルト, ブロックフレーテ, 通奏低音

6. アリア

イエスよ, 禍福の時も
われを汝とともに行かせたまえ。
この世が「十字架につけ」とのみ叫ぶ時,
主よ, 汝の十字架の旗から
われを退かせることなかれ。
冠を棕櫚をわれここに見出さん。
テノール, 通奏低音

7. コラール

イエスよ, 汝の受難は
わが全き喜びなり。
汝の傷と冠と嘲弄は
わが心の慰め,
わが魂はそれを思う時
バラの道を行けり。
願わくは天において
われらのために場所が与えられんことを。
(パウル・シュトックマンのコラール <イエスの
悲しみと苦しみと死> (1633年) の第33節)
合唱, ブロックフレーテ, 弦楽器, 通奏低音

8. 合唱

そこでわれら, 喜びに満ちたサレムへ赴き
愛と受難をうけし王にしたがわん。
主は先立って進まれ
道を開きたもう。

合唱, ブロックフレーテ, ヴァイオリン, 弦楽器, 通奏
低音

○カンタータ 196 番「主は我らを思い給えり」

この曲はバッハの初期の作品の一つであるが、テキストの原典はなく詩編 115 の 12~15 節による。最後のアーメン、レシタティーフのない簡素な音楽様式によって成る。

1708 年アルンシュタットにてバッハの遠縁ローレンツシュタウバーとバッハの妻バルバラのおばレギーナ・ヴェーデマンの挙式が行われた。この曲は、結婚を祝って作曲されたと考えられる。

バッハは 6 月 25 日 ミュールハウゼン市参事会に辞職を願い出し、その前にヴァイマルのオルガニストの試験に行く途中挙式に参加したのであろう。この結婚カンタータは教会カンタータに分類されるだけに宗教的内容と結婚式の喜びに満ちた世界をよく調和させている。シュタウバー家とバッハ家との友情はバッハがライプツィヒに移ってから続いた。1731 年レギーナが死に彼女の遺言どおりバッハとその妻に遺産が贈られた。

第 1 曲 シンフォニア ハ長調 $\frac{4}{4}$

ヴァイオリンの模倣、コンティヌオ（通奏低音）の密集形式を持つこのシンフォニアは三声のリチェルカーレを思わせる。符点のリズムによるモチーフを模倣しながら進む挙式にふさわしい明るい晴やかな曲である。

第 2 曲 合唱 ハ長調 $\frac{4}{4}$

3 部から成る合唱、ソプラノ、テナーによって始まり、2 部はコーラルの部分を模倣し密集し、最後にオーケストラによるテーマを伴う順列フーガ

第 3 曲 ソプラノアリア イ短調 $\frac{4}{4}$

ダ・カーボ形式によるアリア

第 4 曲 テナー、バス デュエット ハ長調

古風な風格を持つ二重唱は 6 度の平行を維持しながらホモフォニックとなって進んでいく。シュビッタは、「汝らと汝らの子供が増しえられ」のテキストは、すでに子供を持つ再婚者を暗示している、と述べている。

第 5 曲 合唱 ハ長調 $\frac{4}{4}$

大きくホモフォニーとフーガとに分けられる合唱

婚礼を祝うのにふさわしいアーメンコーラスによって曲が閉じられる。

○ブランデンブルク協奏曲

ブランデンブルク協奏曲は、バッハがケーテンの宮廷楽長をしていた、社会的、家庭的に生涯で最も充実していた時代に、当時のブランデンブルク辺境伯、クリスティアン・ルードヴィヒの依頼を受けて、ケーテンの宮廷楽団の為に作曲しておいたいくつかを 6 曲にまとめて献呈したものです。これらの輝きに満ちた主要な器楽の為の作品は皆この時代に作曲されており、ここでは重要視されなかった教会音楽も後のライプツィヒ時代の教会カンタータの中に再びパロディとして取り入れるなどケーテンでのすぐれた創作活動を物語っています。ケーテン時代の協奏曲はかなり失なわれてしまったものがあるのではないかと想像される今日、このブランデンブルク協奏曲が献呈用の自筆譜によって完全な形で我々のもとにあるというのは貴重な財産と言えるでしょう。

5 番の協奏曲は、チェンバロ、フルート、ヴァイオリンが独奏楽器として用いられていますが、全体としてはチェンバロがほとんど主導権を握っており、1 楽章の終りには、65 小節というカデンツァが奏されます。チェンバロが独奏楽器としてコンチェルトでこの様な活躍をするということは、当時では全く新しいやり方なのでした。このチェンバロは当時ケーテンの宮廷では、バッハ自身が演奏したと考えられています。バッハは合奏の際、内声のヴィオラを弾くことを好んだ様です。たぶんケーテンの楽団でも普段はヴィオラを弾きながら指揮をしたのでしょう。さて、この宮廷のヴァイオリン奏者は 3 人でした。そのうち 1 人が独奏し、もう 1 人がバッハの代りにヴィオラにまわると残りが 1 人。それでこの曲には第 2 ヴァイオリンがないのだとか……。いづれにしても 1 つのパートを何人もで演奏する大きな合奏ではなく、各パート 1 人ずつという、まさに「宮廷向き」の小さな編成で演奏されたもののようです。今夜の演奏も、当時の小さな演奏スタイルでお聞かせします。

曲は 3 つの楽章から成り、第 1 楽章がアレグロ、ソロとトゥッティ（全体合奏）との対比が見事です。第 2 楽章はソロ楽器のみによるおそい楽章、第 3 楽章はジグとよばれる活発な舞曲のリズムによる曲で、フーガによる A の部分と歌う要素の強い B、そして再び A という 3 部形式によっています。

○カンタータ 182 番「天の王よようこそ来ませ」

バッハは 1708 年 6 月 25 日 ミュールハウゼンの聖ブラジウス教会のオルガニストを辞職し、7 月にヴァイマルの宮廷楽師兼宮廷オルガニストとなった。領主エルンスト公はバッハに対して寛大であったため、ヴァイマル時代バッハはマイニンゲン、カッセル、ドレスデン、ライプツィヒと旅することができた。

1713 年にハレを訪れ、聖母教会のオルガンに魅せられ、空位であるオルガニストの地位に立候補したが、結局バッハはヴァイマルに留ることになった。バッハを手離したくなかったエルンスト公は、俸給を増やし、翌年 3 月 2 日楽師長に任命した。楽師長となった第 1 作がこの 182 番なのである。この作品はイタリアの声楽形式、ダ・カーボ形式を取り入れたものである。ヴァイマル時代バッハは 20 曲余りの教会カンタータを作ったが、その大部分はエールトマン・ノイマイスターによる新しい型のカンタータ歌詞を採用した。しかし彼が特に心をひかれたのはゼロモ・フランクによる神秘的な内容を持つ歌詞であった。フランクの歌詞による作品は 182 番の他に 12、172、21、152 番である。

第 1 曲 ソナタ グラーベアダージョ ト長調 $\frac{4}{4}$

ヴァイオリンとブロックフレーテの符点リズムはまさにイエスのロバに乗ってのエルサレム入場を思わせる。

第 2 曲 合唱 ト長調 $\frac{4}{4}$

ダ・カーボ形式による合唱。フーガによって始められた合唱は、「来たれ我らの王よ」によって高められて行く。中間の整然としたカンノンによって曲は結ばれる。

第 3 曲 バス レシタティーフ

詩編 40 編の 8、9 節が歌われる。

第 4 曲 バス アリア ハ長調 $\frac{4}{4}$

レシタティーフに続いて歌われるバスによる受難のアリアである。「強き愛、それは大なる神の子なり」

第 5 曲 アルト アリア ラルゴ ホ短長 $\frac{4}{4}$

中間にアンダンテが挿入される、ブロックフレーテとデュエットのアリア。

受難を心から受けとめ深い黙想へと導く。

第 6 曲 テナー アリア ロ短調 $\frac{3}{4}$

通奏低音のせわしない 16 分音符は何を意味するのだろうか。「十字架につけよ」と叫ぶ時、心は落ちつかず、動揺せざるを得ないであろう。

第 7 曲 コーラル ト長調 $\frac{2}{2}$

ボウル・シュトックマン「イエスの受難、苦しみと死」のコーラルによる。当時ドイツキリスト教界を風靡した敬虔主義の流れをくむ内省的な歌が多く作られた。このコーラルもそれらのひとつである。バッハベル風によるファンタジー様式によるコーラル。

第 8 曲 合唱 ト長調 $\frac{3}{8}$

ダ・カーボ形式による合唱。一変して明るい合唱になる。「受難」を示す音はフラットをつけて表わされている。